

所沢市子ども・子育て会議
(令和元年度第1回)

会 議 録

令和元年5月28日

会議の名称	所沢市子ども・子育て会議（令和元年度第1回）
開催日時	令和元年5月28日（火） 午後2時00分から午後3時30分まで
開催場所	こどもと福祉の未来館3階 多目的室3・4号
出席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
欠席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
説明者の職・氏名	株式会社サーベイリサーチセンター：猩々 聡子 山川 鈴音
議題	議事 (1) 各事業の進捗状況について (2) 教育・保育施設等の利用定員等について (3) 第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画の全体構成・骨子（案）について (4)その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1：所沢市子ども・子育て支援事業計画 事業等管理一覧表 ・資料2：利用定員等の数値見直し ・資料3：第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画の全体構成・骨子（案） ・参考資料：所沢市子ども・子育て支援事業計画（平成30年度）見直し版 ・追加資料1：事前にいただいたご意見一覧 ・追加資料2：第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール 所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書 ところっこ子育てガイドブック
担当部課名	<p>本田こども未来部長 町田こども未来部次長 こども政策課：瀧澤課長、一色副主幹、肥沼主査、鹿島主任、中島主任 こども支援課：市來参事 青少年課：森田課長 保育幼稚園課：小山課長 健康づくり支援課：野上課長、松本主幹 （事務局）こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415</p>

(会議録別表1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏名	出欠席状況	選出母体等
1	豊泉 尚美	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
2	市川 奈緒子	欠席	学校法人 白梅学園 白梅学園短期大学
3	遠藤 和幸	欠席	埼玉県所沢児童相談所
4	横須賀 邦子	出席	所沢市立小中学校校長会
5	三上 明男	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
6	上野 勝久	出席	所沢市PTA連合会
7	小沢 貞泰	出席	所沢市放課後児童対策協議会
8	藤澤 拓也	出席	所沢市私立幼稚園協会
9	川口 貴史	出席	埼玉県保育協議会
10	藺田 公斗	出席	地域型保育事業運営団体
11	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
12	水野 良司	欠席	放課後児童健全育成事業運営団体
13	森田 純子	出席	所沢商工会議所
14	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
15	當眞 昭子	欠席	子ども・子育て支援関係者
16	渡邊 雄太	出席	市民公募
17	大橋 ちづる	出席	市民公募
18	島田 桂子	欠席	市民公募
19	中村 好恵	出席	市民公募
20	関 順子	出席	市民公募

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>～ 開 会～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 会議成立の報告 ■ 委員・事務局職員紹介 ■ 会長挨拶 <p>議事に入る前に、資料の確認と本日の会議の流れを事務局から説明をお願いします。</p> <p>お手元にお配りしております資料の確認をお願いいたします。</p> <p>事前の配布資料としまして、</p> <p>会議次第</p> <p>資料１：所沢市子ども・子育て支援事業計画 事業等管理一覧表</p> <p>資料２：利用定員等の数値見直し</p> <p>資料３：第２期所沢市子ども・子育て支援事業計画の全体構成・骨子（案）</p> <p>参考資料：所沢市子ども・子育て支援事業計画（平成３０年度）見直し版</p> <p>また、本日の追加資料といたしまして、</p> <p>追加資料１：事前にいただいたご意見一覧</p> <p>追加資料２：第２期所沢市子ども・子育て支援事業計画 策定スケジュール</p> <p>皆様、お手元におそろいでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の流れでございますが、</p> <p>はじめに、議題１として「各事業の進捗状況について」、議題２として「教育・保育施設等の利用定員等について」、議題３として「第２期所沢市子ども・子育て支援事業計画の全体構成・骨子（案）について」ご説明を事務局から行い、それぞれの議題について皆様からご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>なお、この会議は、午後４時までを予定しておりますので、よろしくをお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 傍聴確認 ■ 傍聴者入場（１名）

事務局	<p>傍聴の皆様におかれましては、傍聴要領をお守りいただきますようご協力お願い申し上げます。</p> <p>それでは、議長に議事の進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>本日の流れについては、先程の事務局からの説明のとおりです。</p> <p>それでは議題1の「各事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～事務局より資料1に基づき説明～</p>
会長	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>事前にいくつか質問を出させていただきましたが、それに対する回答はないのでしょうか。</p>
事務局	<p>事前にいただいたというご質問を確認できておらず、回答をご用意しておりません。大変申し訳ございません。もしよろしければ、この場でご質問を伺ってお答えさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>質問は締切日の夕方にFAXでお送りしております。</p> <p>教育・保育のNo.1の平成31年度の幼稚園の申込数と入園者数、No.2からNo.4で、平成31年度の保育園などへの申請数、不承諾通知数を年齢別で分かれば教えていただきたいと思います。もう一つはNo.2からNo.4で、平成31年4月1日時点で2号、3号のそれぞれの入所人数をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>1点目、市では幼稚園の申込人数は把握をしておらず、例年5月1日時点で入所人数の総括がありまして、その集計をこれから行う形になりますので本日の時点では幼稚園の入所人数の全体の数というのはお答えできませんので、次回までに整理ができればご報告いたします。</p> <p>2点目、保育園の申請数と入所保留の通知数ですが、2月1日に最</p>

事務局	<p>初の利用調整を行いまして、この時点では希望園で入所できるかどうかの利用調整と捉えていただければと思いますが、その時点で申込児童数が1,936人、そのうち内定の通知を出した方が1,373人、入所保留の通知を出した方が563人ということになっております。これは最初に希望した園でのマッチングの結果ということになりますので、この後、入所保留になった方に個別に電話を掛けその時点で空いている近くの園をご紹介してマッチングしていくという作業を行います。それから、563人の中にはどこかに在園されていて、そこから転園の申請を出される方も含まれていますので、まったくどこにも在園していないわけではない方もこの中に含まれているという前提でお願いいたします。</p> <p>3点目、4月1日時点の入所人数は、市外の保育園等に入園している人数を含めて全体として5,641人となっています。2号・3号の別につきましては手元に資料がなく申し訳ございません。</p>
委員	<p>地域子ども・子育て支援事業のNo.4で、定員を超えて入所しているクラブの数がどのくらいあったのかを平成31年度と平成30年度の4月時点で教えていただければと思います。さらに定員の2倍を超えているクラブ名が発表できるようであればお願いします。同じNo.4の関連で、平成31年度の入所申込数、クラブに登録できた児童数を教えていただきたいと思います。もう1点、No.8幼稚園の一時預かりとNo.9一般の一時預かりについて、平成30年度と平成31年度で、それぞれ受入れ予定数に達して、受入れできなかったという園があったら、どのくらいの数があったのかを教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>1点目、定員を超えて入所している児童クラブの数ですが、平成31年4月1日現在で、定員を超えて入所している児童クラブの数は、児童館の生活クラブと児童クラブを合わせて43施設のうち35クラブとなっています。定員2倍以上、200%を超えているのは9クラブでございます。すべて児童クラブで、若松、三ヶ島、明峰、牛沼、富岡、所沢、中央、北野、北秋津です。牛沼はちょうど200%です。それから入所申込ですが、平成31年4月現在で申込者数は3,470人、このうち4月1日現在の登録児童数は3,105人でございます。</p>

事務局	<p>す。登録児童数、定員を超えて入所している施設が35施設と説明いたしましたが、毎日登録児童数の方がその施設を使うわけではなく、所沢市ではこの数年の実利用率は73%程度でございます。</p> <p>続きまして、幼稚園型の一時預かり事業について、確保の内容延べ231,000人に対して平成30年度107,902人ということですが、各幼稚園から、受け入れキャパに対して希望者が多くなって希望どおりに受入れができなかった旨の報告を聞いたことがありませんし、市からそのような事例があったか投げかけたことがなくご相談を受けたことがありませんので、十分に確認ができているかという不確かな部分があるかもしれませんが、実績としては十分対応できていると認識しております。</p>
会長	<p>ちょっと戻りますけど、委員の最初の質問だった放課後児童クラブのことで、お答えを頂いたうえで、ご意見ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>ここで報告された数値だけでは見えない所沢の子ども達の現状がどうなっているかということをお聞きしました。特に、放課後児童健全育成事業では定員の2倍以上になっているのが9クラブという実態になっていて大変な状況になっているだろうと思います。そう考えると、早急に手を打たなければいけないのではないかと考えています。指定管理でお願いするだけでなく、あらゆる手立てを使って増やすことが早急に求められているのではないかと考えております。クラブ数を増やしていく手立てが、事務局からの報告では十分伝わってこないの、今そういうことを考えているのがどの程度まであるのかを先に出していただいたほうがいいかなと思います。何がネックになっているのか、事務局は大変だと思うのですが、その辺りをここで出させていただいて委員皆で考えたらいいのではないかと考えています。</p>
事務局	<p>事務局の説明の中にも第1期事業計画の振返り、取組状況の説明がありました。私達も状況を認識しており、供給量の確保につきましては、様々な方法について今後検討したいと考えております。この4年間の中で496人分の定員拡大を図ってまいりました。これは民設民営児童クラブの導入ですとか、生活クラブの定員拡大、児童クラ</p>

事務局	<p>ブの改修等、4年間手がけて約500人近い定員を拡大してまいりましたが、まだまだ厳しい状況がございます。今後は、放課後児童対策協議会で進捗管理を行い、ご意見等を踏まえながら進めて参りたいと考えております。</p> <p>先ほどNo.9の一般の一時預かりについてもご質問を頂きましたので、回答させていただきます。平成30年度の確保の内容87,000人、利用実績31,705人となっていますが、すべての施設が定員を超えているということではなく、駅近くなど利用しやすい施設に希望が集中しておりますので、利用者の希望を聞きながら相談員から他の施設の案内などをしております。</p>
委員	<p>提案したいことが多く、絞り切ることができません。一つの事業が変われば良いというのではなく、大前提として母親、父親へのケアが必要だと思っています。イクメン、子育てパパなどの言葉で男性を盛り上げるのではなく、女性と男性が一人ひとり母親、父親になっていくことを見据えて伸ばして行ってほしいと思います。子育てガイドブックの18ページにも子育てパパになろうという表記がありますが、これを女性から恋人である男性に見せたら、男性はやらなければならないと思うと思います。仕事が第一、仕事をするのが家族のためになると考える男性もいますし、未来のパパへ、とか将来パパになるあなたへなど柔らかい表現にさせていただけると見せる側としても軽い気持ちで見せて一緒に話す環境が作れるのではないかと思います。母親は母子手帳をもらった時点から、母親になることから逃げられない、母親にならなければならないと言われていたような不安を覚えると思います。経済的事情や個人の事情で、その命を喜べない人もいます。市役所や保健センターが最初の窓口となる場なので、不安な人のSOSが一番出ている場所でもあると思います。私の経験では、マニュアルどおりの対応で、封筒に入った資料を渡されて終わってしまい、内容もよく分からないまま帰されてしまい不安でした。冊子などはたくさんあり、これどおりにしなければならないと感じました。初産の人にはもらった資料がマニュアルになってしまい、プレッシャーを感じたまま育児をしなければならない人もいると思うので、そのようなプレッシャーを少しでも減らせる所沢市になってほしいと思います。話を聞いてもらえて、育児を楽しく迎えられたら良いと</p>

<p>委員</p>	<p>思います。</p> <p>1歳半健診も母親にとってはプレッシャーが大きいものです。私の経験ですが、子どもが会場で人見知りをして質問に答えられなかった際に、言葉が言えない、発育が遅いとチェックされてしまいました。自宅では言えていても、その会場で言えないとチェックされてしまい母親の私も不安に思いました。あの時は言えなかったけれど家では言えたねとか、家ではどうですかなど柔らかく聞いてカバーしてくれる保健師さんにいてほしかったと思いました。子どものおやつについてもバナナを1本あげてはいけないと保健センターで頭ごなしに言われて、なぜだか分からない、子どもがぐずるときにはあげたくなる、という状況でとても不安に思いました。保健センターで保健師さんと話をして何か解決したかというところとそういうことはありませんでした。</p> <p>今の保健センターや支援は状況が変わっていると思いますが、切れ目のない支援という言葉をよく目にするようになり、本当にそのとおりにしていただいて、お母さんお父さんになったときに楽しく育児・子育てをしていくことができる未来をつくっていきたいなと思いますので、所沢市もそのような働きをしてほしいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>子育て中のお母さまの貴重なご意見だと思いました。</p> <p>新しい子育てガイドブックは、以前のものと比べると随分改善されていますね。以前はセンターや支援の種類が並べられていて、事務的な感じがしました。実際に手にとった方にとって、わかりにくい、使いづらいのではないかと、思った部分が改善されました。</p> <p>今度は新ガイドブックに記載されている内容に踏み込んで、実際の子育て支援のありかたにも注意を向けたいと思います。</p> <p>例えば、母子手帳の配布についても書かれていますが、所沢市ではどのように手渡すのでしょうか。隣の狭山市では、妊婦さんは保健センターか市役所の窓口のどちらか選んで母子手帳を受け取りますが、その際どちらの窓口にも保健師（あるいは助産師）がいて、必ず言葉を交わすそうです。</p>
<p>事務局</p>	<p>所沢市では、保健センターの中にあります子育て世代包括支援センターかるがもを中心として、本庁では保健医療課、各まちづくりセンターで母子手帳を交付しています。かるがもでは、必ず保健師または</p>

事務局	<p>助産師の専門職が面談をします。保健医療課では保健師 1 名を配置していますので、一部事務職が対応することもあります。保健師がいる場合は保健師が面談をさせていただきます。</p>
会長	<p>所沢市でも母子手帳を渡す際、丁寧な面接を行っていると聞いてほっとしました。初めての出産・育児体験をする女性にとって、母子手帳を受け取る窓口は、お母さんになるスタートラインとも言うべき場ですから、大切です。</p> <p>さて、所沢市の子育て支援のありかたについて、少しお話ししたいと思います。本会議の冒頭で 2016 年に「胎児期から 3 歳までのケアの質が人と社会の成長を左右する」という WHO（世界保健機関）の提言について触れましたが、昨今乳幼児ケアの重要性については、世界的に認識されています。そんな中で子育てがしやすい国としてランキングの上位にあるフィンランドでは、「ネウボラ」という取組があります。地域で家族が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、「切れ目のない子育て支援」を保障する公的制度として、世界的に注目されています。ご存じのように、2015 年に子ども・子育て支援制度の施行を機に、前年よりいくつかの自治体で「日本版のネウボラ」のモデル事業が始まりました。所沢市でも「かるがも」が作られたり、子育てガイドブックにもあるように「切れ目のない子育て支援」という言葉がうたわれたりするようになりました。所沢市でも日本版ネウボラを考え方を基本として、子育て支援を行おうとしているのだと思いますが、新ガイドブック等に「切れ目のない」と書かれている以上、具体的にどのように切れ目がない子育て支援を実践しているのか、明確に示してほしいと思っています。</p> <p>多くある事業そのものはそれぞれよく活動し、保健師・助産師の方々や保健センターも非常に活躍されていると思います。ただ、保健センターとこどもと福祉の未来館や児童館、まちづくりセンター、公民館などの施設、他の事業とどのように連携をとっているか、色々な子育て支援に関わる場がどのように連携をしているか、今後はその実情をお伺いしたいと思います。所沢市にある様々な子育て支援に関わる場や人の連携のありかたこそが「切れ目のない支援」につながると考えます。</p>

委員	<p>たいへん重要なお話ですが、事務局でも問題点を認識していると思います。その認識から課題をどのように解決していくか考えていると思いますので、今日のところは、この議論はこれで十分ではないかと思います。</p>
会長	<p>今回の会議から次期「所沢市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）」作成に向かっていくため、今「切れ目のない」子育て支援、というところの行政の考え方をきちんと出していただきたいということでお話しさせていただきました。今ご意見をいただきましたとおり、個々の事業については、特に問題はないのではないかとということです、何か問題があれば今後ご意見をいただくということによろしいでしょうか。</p>
委員	<p>会長と子育て中の委員さんからお話があったことは重要なことと思います。個々の事案、メニューは重要だと思うのですが、実際、子育てをしている保護者の立場からすると、「切れ目のない」という点では、常に何かのサポートがあるという点ではありますが、担当する人が変わってしまいます。乳児家庭全戸訪問事業や子育て広場、1歳半健診などそれぞれ対応してくれるのは違う人です。プロとしてやってはいると思いますが、普段の様子を知らないその場限りの人が対応することになります。フィンランドのネウボラでは同じサポーターが継続的に関わっているということです。それはだいぶ違うと感じます。結局、子育て中の保護者が安心できるかが目的で、何か不安だともったいない支援事業になってしまうと思います。サポート事業が色々あっても不安だったという委員の意見もありました。不安な中で孤立してしまうということもあります。敷居が高くて行きづらいという声も聞きます。参考にさせていただく程度で十分なのですが、不安を拭い切れないということが日本、所沢で起きているということをお伝えしたいと思います。</p>
会長	<p>次の議題に移ります。それでは、議題2「教育・保育施設等の利用定員等」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～事務局より資料2に基づき説明～</p>

<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>会長</p>	<p>ないようでしたら、議題3の「第2期所沢市子ども・子育て支援事業計画の全体構成・骨子(案)について」について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局より資料3に基づき説明～</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問等ございましたら、お願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページの参考資料として追加で所沢市自治基本条例も入れてほしいと思います。この条例は、私たちにとって大事な条例だと思います。広報でもみんなでつくろう所沢の憲法という名称で市民に訴えている内容です。これからの子育ては行政だけが枠を作るだけでなく、それぞれの所で頑張ればよいだけでなく、所沢市全体で子どもの問題を考えるという意味では基本になると思いますので自治基本条例を入れてはどうかと思い、検討していただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>全体構成案の2ページに計画の位置づけとして示しているとおおり、市の計画については連携・整合を図るということで内容を記載させていただく予定でございます。計画の根本となる条例については基礎になりますので、皆様で作り上げる計画という認識をしております。それを踏まえて策定をしてまいります。参考資料として載せるかどうかについては、現段階ではここに記載の資料を掲載する予定としております。</p>
<p>委員</p>	<p>3ページから4ページにかけて目標設定というところを見て、量の見込み及び提供体制についてとありますが、これまではそこがたいへ</p>

委員	<p>ん重要だったと思いますが、市の資料の人数をみると待機児童も減っており、量はかなり充足してきている中で、また第2期でも量の見込みとあると、質のこととか連携という視点で追っていくことはできないのかと感じます。今までどおり量の見込み、提供体制の確保、というだけで良いのだろうかという質問です。</p>
事務局	<p>量の見込みと提供体制は、この計画の根拠となる子ども・子育て支援法上で必須事項となっており、記載させていただくところでございます。量のこと以上に質については考えていかなければいけないところですので、例えば第3章の目標実現のための施策のところなどに質についてのことを入れ込んでそこを担保しつつ、利用される方のことである量についても考えながら両方から見ていきたいと思っております。</p>
委員	<p>子ども・子育て会議は平成25年から進んできているのですね。人口の推移や施設の充実化が進んできていると思います。数的なものが分かるようにしていただくと子育て家庭が減ってきていることや、定員・施設が増えていることが分かりやすく、市の状況が変わっていることが分かって良いと思うので、過去3年、4年前から資料にして示していただければと思います。</p>
事務局	<p>この後、数については2回目、3回目の子ども・子育て会議でご協議いただくこととなりますので、できるだけ前のものから数値をお出しできたらと思います。</p>
会長	<p>ほかにご意見がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。それでは、事務局から議題4「その他」について報告をお願いします。</p>
事務局	<p>～子育てガイドブックについて説明～</p>
委員	<p>子育てガイドブックを見て、率直に申し上げてよくできていると感じています。サイズについて、バッグに入るサイズを想定されたのだろうとすぐに分かりました。身近に手に取ってほしいという意向が伺</p>

委員	<p>えます。以前のものは、所沢ってこれだけたくさんの方の施策メニューがあるのか、そのうち自分はどれだけ使っただろう、こういう施策を必要とする人もいるのだなと感じていました。新しいガイドブックを手にとってまずQRコードがついていることに驚きました。ぜひすべての子育て家庭にダウンロードしてほしいと思います。居住地により小学校や民生委員、公共施設などの情報・メッセージが伝えられるようなツールになっていくことに期待を寄せています。</p>
委員	<p>策定スケジュールについて、8月の委員改選がなぜこの時期なのか気になっています。2年間通して見てきて、今日のような全体構成や骨組みなどをみんなで話し合う場だと思って参加していましたが、前回と今回でそのような中身の話になって意見を言わせていただきましたが、そのような場をもう少し増やしてほしいと思います。ここで2回、3回と話し合った後、結果がどうなったか私たちには分かりません。また委員の改選があつて市民公募で何も知らない人が集まって、やっと分かるようになったらまた任期が終わってしまいます。またスタートに戻ってしまいます。平成25年の計画の当初からの流れが分かる参加者もいたほうが良いと思います。市民公募とは名前だけで所沢市が市民と一緒にやっていることのアピールになってしまっているのではないかと不安にも思います。また、委員改選の選び方ですが、子どもの年齢別に抽選した中から当たって参加していますが、無作為で募集をかけて、応募している人の人数は20人程度ととても少なかったようです。応募しただけでも意見があると思うので、市民公募で話し合う時間を設けて市民としての意見を出せる場があると良いと思います。この会議でもやっと横のつながりができて、事前にお話をさせていただき、意見を言わせてもらっていますが、市民公募で選ばれた市民として市民の意見を代表できるような、次の委員改選のときには、すべてとは言いませんが抽選に来た人からなるべく枠を広げて、多くの方が意見を言えるような場所にしていだけたらと思います。</p>
事務局	<p>公募の方からもなるべく意見を吸い上げたいと考え、事前に資料を送付するなど意見を吸い上げられるようにここでのご意見を踏まえて仕組みを変えてきていることについては、ご理解いただければと思</p>

事務局	<p>います。この子ども・子育て会議は、市からお願いをして委員の皆様 に意見を頂き、計画策定に携わっていただくということで、条例で定 められた市の附属機関として位置づけられているものです。委員の改 選の時期については、条例で定められた9月1日から2年の任期とな っており、任期についてはすぐに変えることができるものではありません。 新しい公募の方からもご意見をいただけるようにということで、無 作為で声を掛けさせていただき、新しいご意見を聞く機会と捉 えております。今回のご意見を踏まえて、任期の切り替わりのときに、 全く知らない方が来て、全く知らないままで会議に入らないように工 夫をしてみたいと思います。今後第2回、3回とご意見をいただ く機会がございますので、率直なご意見を頂戴できればと思います。</p>
会長	<p>次回のスケジュールについて事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>～スケジュールについて説明～</p>
会長	<p>ご質問がないようでしたら、以上で本日の議事はすべて終了いた しましたので、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 以上で、令和元年度第1回の子ども・子育て会議を閉会いたします。 本日は、長時間にわたり大変ありがとうございました。</p> <p>～閉 会～</p> <p style="text-align: center;">会長署名 _____</p>